

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|-----------|--------------------|---|--|-----------|---|---|------|-------|------|---------------|-----------|---|
| 事務事業名 | | 通所型介護予防事業 | | | <input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 | | | | | | | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | | 所属部 | 健康福祉部 | 課長名 後藤博康 | | | | | | | |
| | 施策 | 16 | 高齢者・障がい者の自立促進と社会参加 | | 所属課 | 高齢者支援課 | 担当者名 坂井晴代 | | | | | | | |
| | 基本事業 | 49 | 高齢者の介護予防の充実 | | 所属班 | 包括支援センター班 | (内線) 2118 | | | | | | | |
| 予算科目 | 会計 | 30 | 款 | 11 | 項 | 1 | 目 | 1 | 事業連番 | 11265 | 法令根拠 | 介護保険法第115条の44 | 成果優先度評価結果 | 2 |
| 終了、開始年度 | <input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始 | | 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) | | | <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度) | | | | | | | |

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

| | |
|--|---|
| 【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) | 介護予防という考えが平成18年の介護保険法改正により制度化された。特定高齢者に対し、運動・栄養・口腔の機能向上事業を効果的に組み合わせることで、介護予防を効果的に行う。また、交通手段の乏しいことにより閉じこもりがちな高齢者に送迎を行うことで事業の参加を促すことができる。 |
| 【業務の流れ】 | 特定健診・後期高齢者健診時に生活機能評価を行い、特定高齢者と認められた方に事業参加の案内を行う。参加希望者に介護予防プランを作成し、通所型事業を実施する。 |
| 【主な予算費目】 | 委託料 |
| 【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? | 教室参加者より「バランス良く食べるように心がけるようになった。」「薄味になった。」「家族に同じことをいうといわれていたが、それがなくなった」「口の乾燥をあまり感じなくなった。」など数多くの意見が寄せられた。 |

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

| | |
|---|--|
| (1) 事務事業の目的と指標 | |
| ① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO) 介護予防に必要な特定高齢者に、介護予防プランを作成し、週1回4ヶ月の通所により運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防事業を実施した。 | 22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ★特定高齢者の方で、事業参加を希望される方に介護予防プランを作成し、週1回の通所により予防事業を実施する。 |
| ④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア:事業参加者 | (単位) 人 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 特定高齢者 | ⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ ア:特定高齢者数 |
| (単位) 人 | (単位) 人 |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 介護状態になることを未然に防止する。 | ⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ ア:状態が改善した人数 |
| (単位) 人 | (単位) 人 |
| *⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 高齢者が本事業に参加することにより継続的に自立した生活を継続できるように設定した。 | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|--------------|----------------|----------------|------------------|----------------|------------------|------------|------------|--------|
| (2) 各指標・総事業費の推移 | | 単位 | 19年度 実績(決算) | 20年度 実績(決算) | 21年度 目標(当初予算) | 21年度 実績(決算) | 22年度 目標(当初予算) | 23年度 予定 | 24年度 見込 | |
| ④ 活動指標 | ア | 人 | | 38 | 70 | 75 | 80 | 80 | 80 | |
| | イ | | | | | | | | | |
| ⑤ 対象指標 | ア | 人 | | 486 | 470 | 496 | 500 | 500 | 500 | |
| | イ | | | | | | | | | |
| ⑥ 成果指標 | ア | 人 | | 33 | 66 | 68 | 70 | 75 | 75 | |
| | イ | | | | | | | | | |
| 投資 入 量 | 事業 内 訳 | 国庫支出金 | 千円 | | 2,340 | 3,600 | 1,984 | 2,503 | 2,503 | 2,503 |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | | 1,170 | 1,800 | 992 | 1,252 | 1,252 | 1,252 |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | | 4,680 | 7,200 | 3,970 | 5,006 | 5,006 | 5,006 |
| | | 繰入金 | 千円 | | 1,170 | 1,800 | 992 | 1,252 | 1,252 | 1,252 |
| | | 一般財源 | 千円 | | | | | | | |
| | (A) 事業費計 | 千円 | | 0 | 9,360 | 14,400 | 7,938 | 10,013 | 10,013 | 10,013 |
| 人 件 費 | (A)のうち指定経費 | 千円 | | | | | | | | |
| | | (A)のうち時間外、特勤 | 千円 | | | | | | | |
| | | 正規職員従事人数 | 人 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| (B)人件費計 | 延べ業務時間 | 時間 | | 314 | 240 | 240 | 280 | 280 | 280 | |
| | 千円 | | 0 | 1,256 | 955 | 955 | 1,114 | 1,114 | 1,114 | |
| | 千円 | | 0 | 10,616 | 15,355 | 8,893 | 11,127 | 11,127 | 11,127 | |

| | | |
|----------------|------|------|
| 総トータルコスト | 全体計画 | ～ 年度 |
| (期間限定複数年度のみ記載) | | |
| 0 | | |
| 0 | | |
| 0 | | |

| | | | | | |
|-------|-----------|-----|-------|-----|--------|
| 事務事業名 | 通所型介護予防事業 | 所属部 | 健康福祉部 | 所属課 | 高齢者支援課 |
|-------|-----------|-----|-------|-----|--------|

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

| | | | |
|---------|---|---|--|
| 目標達成度評価 | ①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？ | <input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ | 参加者の多くが教室での実技や指導を通じ、健康増進が図られた。 |
| | ②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ | 本年度もより効果のある事業を展開していくため、目標達成は可能である。 |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ | 運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防事業を通年で実施し、新規の事業参加者が増えれば、より多くの状態の改善が図れる。 |
| | ④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ | 類似事業はない。 |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ | 全額一般財源で対応している生きがいデイサービス事業の一部転換により、補助対象とすることで一般会計からの繰り入れの削減が図られている。 |
| | ⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ | 事業の実施は委託で行うが、特定高齢者へのケアマネジメントは個々に作成する必要があり、削減は図られない。 |
| 公平性評価 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ | 事業参加者には一部負担をお願いするので、公平・公正だと考える。 |
| 役割分担評価 | ⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ | 市が運営しているユウパレス弁天で実施することにより、施設の利用効果もあり、また専門の事業所に委託しており適正である。 |

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

温泉を利用した健康づくりを行うことで、高齢者の健康への関心が高まり、要支援・要介護状態にならないために多く参加があった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

| | | | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | コスト | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | | |
| | 維持 | | ○ | |
| | 低下 | | | |

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特定高齢者が増えられたときの対応。運動を制限される方への対応。受け皿を利用する場合、施設への移動手段が乏しく、事業を継続されるかが問題。